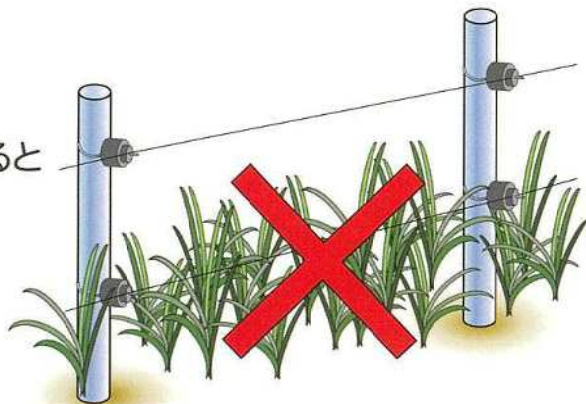


電気柵を正しく管理しましょう!

電線の周りは常に刈払いを!

電線に雑草の葉が触れると漏電の原因となります。



電気柵の電源は常にON!

通電しない電気柵にイノシシが慣れてしまうと、電気柵へのイノシシの警戒心が薄れ、電気柵の効果が低下します。

設置した電気柵は昼夜を問わず電源を入れたままとして、作物の収穫後、通電しない時期は柵を撤収しましょう。



電気柵の安全対策を徹底しましょう!



電気柵を設置する場合は、危険表示板を設置するよう、法律で義務づけられています。見やすい場所に適当な間隔で危険表示板を設置しましょう。

電気柵だけじゃない被害対策!

ステップ1 野生動物が嫌がる環境づくり

- ・野生動物のエサ(収穫残渣、放任果樹)の除去
- ・野生動物の隠れ処(集落や農地周辺のヤブ)の除去

ステップ2 農地を適確に囲う

- ・防護柵は四辺・四隅を囲い、隙間をつくらない
- ・防護柵周辺の刈払いなど、柵の点検・管理

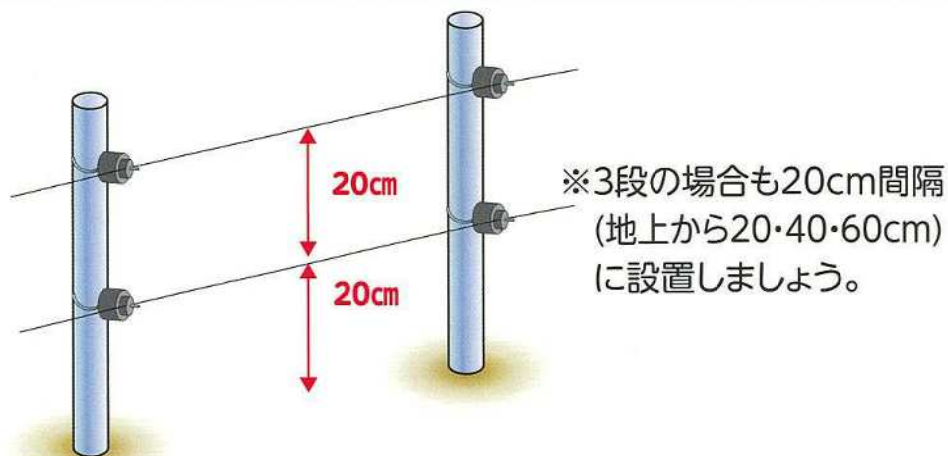
発行元

大分中部流域林業活性化センター 豊肥地区林業振興部会
(事務局) 大分県豊肥振興局 農山村振興部 森林管理班

〒878-0013 大分県竹田市大字竹田字山手1501-2
☎0974-63-1174

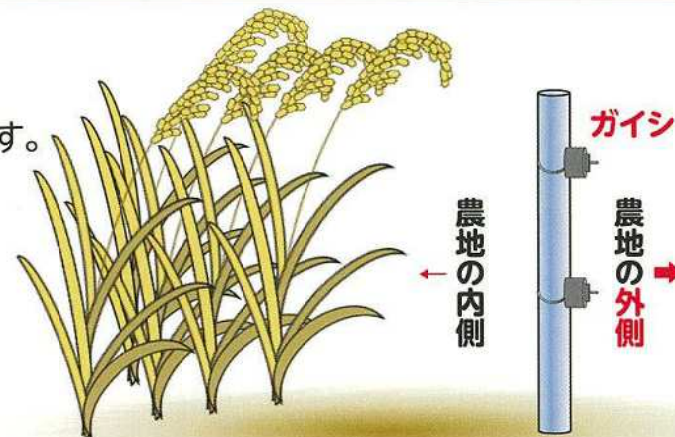
電気柵を正しく設置しましょう!

電線の高さは地上から20cm・40cmが基本!

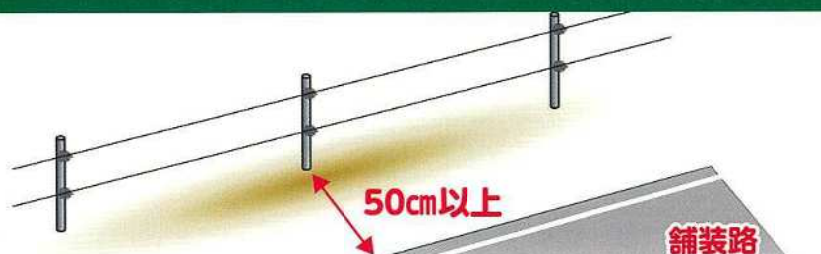


電線のガイシは外側に向けましょう!

イノシシは縦棒を
押す習性があります。
確実にショックを
与えるため、
ガイシは外側に
向けましょう。



舗装面から50cm以上離しましょう!

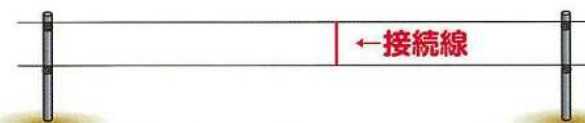


アスファルトなど舗装路面は通電しにくいので、
イノシシの鼻先が電気柵に触れても
前脚が舗装路面上にあると、十分に感電しません。
柵と舗装面との間隔を50cm以上とりましょう。

地形や設置距離を考慮しましょう!



凹地がある場所では、支柱や電線を追加して、
電線と地際からの距離を20cmに保ちましょう。



設置距離が長い電気柵を設置する場合は、
50m毎に接続線で上下の電線をつなげましょう。